



横田さん

四月一六日、三月二八日東京駅でJR東
労組から国労に加入した横田隆さん(四五
歳)の歓迎会が都内で開催された。
主催者である東京駅分会の照井分会長は

東京駅で横田さん(45歳)が国労加入 JR東労組から「あ〜やっぱり国労だな」

「国労は仲間を大切にしていることが証明
された。現場で働く仲間の意見や不満を集
約し問題点の改善を図っていききたい」と歓
迎の挨拶をした。

国労に加入した横田さんは「二〇年間J
R東労組にいた。仲間と話しても本音が
言えずストレスを感じていた。国労の人た
ちと話したら、『あ〜やっぱりこっちは
な〜』、と思って国労に入れていただいた。
これから頑張っていきたい」と、加入の経
過・決意を話した。

来賓として、東京地本・石上委員長、新
橋支部・山田委員長と石井執行委員が参加
し、歓迎の挨拶をした。

最後に、大橋分会書記長の音頭で乾杯し
懇談にうつった。

新橋支部は、横田さんの加入から始ま
り、有楽町駅(一名)・新宿駅(二名)で
の加入を勝ち取っている。また現在、社会



組合員の購読料は
組合費に含まれます

荒川区西日暮里2-55-1
国鉄労組東京地方本部
発行責任者 石上浩一
編集責任者 常盤達雄

No.1698 定価
15円

2008年
5月5日

国労加入を 大胆に訴えよう

を積極的に進めている。

JR東に一九一三人
JR貨物に四一三人

会社が発表し交通新聞に掲載されたこと
ろによると、四月一日、JR東日本会社とJ
R貨物会社に昨年より大幅に多い新入社員
が入社した。東京地本は、東日本本部と共に、
JR東日本会社入社式会場で国労を紹介
するチラシを入れたティッシュを配布した。
昨年までとは違い、多くの新入社員に私
たち国労の訴えを配布することができた。
既に職場配属がされているが、国労の職
場労働条件改善に取り組み姿勢や、人間性を
全面に出した取り組みが求められている。

エルダー！年金で学習会 国労東京 労働講座



武笠講師

四月八日、飛鳥
山公園の満開の桜
を横目に、国労東
京労働講座が開催
された。
山田福対部長の
司会で始まり、主
催者を代表して石



山辺講師

上執行委員長から「①不採用事件の解決に
向けた取り組みと民主党・鳩山幹事長発言、
②貨物和解成立と今後の取り組み、③年金
支給と臨時雇用期間の取り扱い」について
挨拶を受けた。
講演に移り、「新
たな再雇用制度(エ
ルダー制度)のあ
らましと一年間を
経過した時点の間
題点」について国
労東日本本部・武
笠調査部長から、「とりわけ、エルダー再雇
用の応募に際し、勤務地・応募内容につい
て具体的な希望をはっきりと伝えることが
大切であること」の報告を受けた。また「知っ

て得する定年前後の手続き：年金などの社
会保障制度を有利に活用するために」につ
いて出版退職者懇談会相談室(出版OB会)
山辺啓氏から詳しい報告と提言を受け、「特
に、退職後の諸手続きは、面倒であっても、
申告しない限り権利を行使できないことが
多い」と強調された。
参加した組合員から、更に詳しい説明を
求めた質問が相次ぎ、講師は終了後も説明
に追われた。
最後に、常盤教宣部長の閉会挨拶で、貴
重な時期を得た労働講座を締めくくった。



新橋支部

有楽町駅で大原真太郎さん(30歳) 新宿駅で辻本・加藤さん(21歳GS)

が国労加入

契約社員 嘱託社員 の正社員化を勝ち取る

3・1 国労東京 全分会長会議講演

相模鉄道労組・本間副委員長

既報の通り、三月一日国労東京全分会長会議が都内で開催された。その中で、昨秋闘で非正規労働者の正規化を求めてストライキを設定し脚光を浴びた、相模鉄道労働組合・本間副委員長の闘争報告を受けた。

報告は全参加者の共感を得、共闘の意思を明らかにした。この報告の詳細についてお知らせする。

二〇〇〇年にアクション二一合理化が提案され、三つのバス営業所の分社化⇨転籍や希望退職募集の提案がされました。組合はそんな希望する組合員はいないだろうと思って受け入れたのですが、予想外に退職してしまいました。クーリングオフ制度もあって、何人かは救いましたが、やっぱり希望退職は首切りです。(泣)

賃上げゼロで 三五人の契約社員を 正社員化に!

二〇〇三年に会社は、三一一億の連結欠損金を理由とした労働時間の延長、昇給のカット、保養所の削減などの提案をしてきました。組合は三年経過した契約運転士三五人を完全社員化しろとの要求を出しました。意見としては、組合員ではないのに何故という意見もあったが、この人達の生活を上げないと我々も下げられると説得しました。結果として二〇〇四年春闘まで延び、三

月二八日に私鉄総連としてではなく単組独自にストを構えました。ストの期限は解決するまでとしました。神奈川新聞とか日本経済新聞からは無期限とは何事かと言われたが、無期限とは言っていない、解決するまでだ。すぐに解決するかもしれないということで、猛烈にチラシを撒きました。もう判っていません。ストに入らないと解決しないと。会社は正式な運転士として採用しないと。言っていましたから、三五人の契約社員については断固阻止ということに相当頑張っていました。私たちはストは去年も今年もそうですが、怖いですよ。駅の人なんか本当は嫌なんです。本当のことを言うとき窓口なんかでは脅かされるし、またストやってないのに日時が近づくと酔ったお客さんが絡んで来る。だけどそんな事があったら頑張らなくていいかと、最終的にストに入ったんです。日曜日なのでそんなに影響ないんですが、ストに入ると二時間くらいのところまで会社が三五人の社員化を全面的に認めざるを得ないと回答してきました。私たちがここでまだまだ改善しなくてはいけない、格差を解消しなければいけないと引きずっているのは、その時、会社側は賃上げゼロを提案してきたんです。当時は臨時休もゼロと言っていたんです。組合側は臨時休を削られるのは嫌なので、結果的に、当時は大手私鉄が五四〇〇円。その五四〇〇円をゼロでやって、会社は三五人の社員化を受け取ったんです。その時のストの中で、賃上げゼロは許せないが三五人取った。どうするーと。このままずっとストを続けるか議論があった。会社は世間的には株主の配当を無配にする

と宣言しているんです。ですが、労組もみんな議論して、賃上げゼロを受け入れて、三五人の社員化を取ったんですね。

私はね、個人的には、いくら何でも本当は取れば良かったんですが、難しかったんです。私が驚いたのは闘争委員会とか職場の人たちがそれでいいと言ったんです。もう一寸打ち抜いて一〇〇〇円でもとらなきゃしようがねえと思っただけですが、ストは入っちゃえば何とかなる。入るまでは大変だから、それで、みんながそれでいいと言ったから、私なんか、バス出身だから申し訳ない。その時、住宅手当の半減も決めた。賃上げゼロだけでなく住宅手当の二七〇〇〇円を一三五〇〇円に切り下げられた。三年間の条件つきだった。それで、皆さんで正しい総括をしていただいたので、三五人の社員化だけでこの春闘は終わり。それだけでなく住宅手当も半分取られてしまった。それで私は非常に感激しまして、その後運動方針が変わった。方針は私が書いていたが、当然〇四春闘を忘れるなど書く訳ですよ。多くの組合員から言われるのは嫌じゃないですか。あの時の賃上げ分はどうなんだと言われるのは嫌だから、ちゃんと先に書いてやる。それをやって丁度三年たって、その間に会社は契約社員を入れると社員にさせられちゃうということを考えて嘱託運転士、時給いくらかの、それは協約上あるんですよ。今まで活用してなかったが、しゃくにさわって畜生と思った。

約束した事でも守らないのが資本

約束した事でも守らないのが資本

昨秋闘で、三年たったが、一三五〇〇円が二七〇〇〇円に戻るんじゃないですかと、約束してただけだから。ところが、資本は強烈ですね。私たちは一昨年の秋闘で、職場総点検に基づく職場改善要求が五〇項目くらいあったんですが、それを要求したんですね。あそこ設備を直せとか、そこに組合本部が一行加えて、来年三月に回復することを文書で出せと言ったんです。それしたら、闘争委員会は何でそんな要求をするのかと組合員から出ました。三年前の約束だから自動的に来るんだろうと言っている。闘争委員会では、そんな会社か！と言いました。そんな会社あるはずないと。そして交渉したら、まったく約束した覚えはないと言っているんです。紙に書いてあるんですよ。それはこういうことだと、それは三年後に、そのままいいのかわるか、そのまま継続するかどうか、それも含めて相談するということだと言っています。これには、ふざけるなということ、相当やりあいました、この三月から元に戻すことになりました。

そこで私たちは職場集会で、経営者についているんだと、こういう人たちが経営しているんだという事で、非常に多くの組合員が学習になりました。

やっぱり事前に要求しておいて良かった、今年の春闘に関係する、賃上げや住宅手当に関係するとたまったものではないと、それで事前にやったということが大分学習になって、私たちが相手のやり方がわかってきたような気がします。それでまだ終わらないですね。

嘱託運転士の正社員化を要求

先ほどお話しした嘱託運転士を採用するのにひどいですよ。当初は一三〇〇円だったんですよ。一三〇〇円にしましたけど。だって同じ仕事をしてるんですよ。むしろ残業は多いんですよ。単価が安いからということ。契約運転士の時もそうだったけど、嘱託の時は特に高齢者を雇います。それであまり人がいない。若い人は様々な理由をつけて試験も受けさせない、労基署対策で募集をしているということが大事なんです。



ね。実際に採用するについては適格者がいなかったということでも繰り返してギリギリの採用者にする訳です。特に人権無視みたいなことを会社が言うのは、去年の秋二七人中一二人が直ちに該当するんですが、この人を社員化するように私鉄総連の指示に基づいてやったんですが、会社はダメだと。この人たちは社員にはできないと。だって入社する試験の内容が違うんです。実際、あちこち走っているような私鉄のところは、本来は未解決のところはかなりあるんですよ。三年経ったら正社員になる試験が受けられるとか、あるいは三年経ったら社員になれるような協議をするというふうになっていて、私たちにそういうわかりにくいことが山ほどあり、三年たったら社員にするという事を取りたいということ。組合員ではなく嘱託の人なんです。勿論これから組合員になりますけど。あの人たちは動員に呼んでも来やしないです。去年の秋からずっと社員になんかなれるはずないって言っていましたよ。しようがない



相鉄労組・本間副委員長

から自分たちがそんな気持では困るということ色んなことをしたら、ポロポロ動員なんかに来るようになった。社員になんかと思ってるが、四月一日から社員になるんですよ。この間話し合ったらまだ信用できないと言ってますよ。それぐらい有り得ない事だったんですね。ただ、六〇才に到達した人は、そのまま嘱託という事になります。そういう風な中で、会社に去年要求したんです。

三五人の年保適用 一二人の社員化 〇四春闘分を返せ

去年の秋闘で社員化を要求した時に、格差を是正という事にしたんですが、実はもう一つありまして、〇四春闘のときの五四〇〇円。あれを返してくれという要求を加えました。これはさっきも言ったように、〇四春闘を忘れないようにということを書いてきたわけですね。組合員から言われなくても提起しました。もう一つは契約社員を正社員にした時に、年齢別最低保障賃金制度(年保)というのがあるんですね。二〇才の人と四〇才の人が同じではおかし。これが適用できなかつたんですね。ストの最中に賃上げゼロでもいいが、年保適用を求めたのがだめだった。これをめぐって三〇分くらいやって、そのうち我が方から、年保の問題で交渉を止めちゃうのかという問題もあり、宿題にしようということ。宿題にしたままで二〇才の人と四〇

才の人もみな一六七五〇〇円の本給。この人たちの格差をきちんと埋めろということ。年保を適用しろと言った。これは最大の人で四万円賃金がプラスされます。五七才くらいの人で。これには会社が猛烈に抵抗しまして、三五人の年保適用、一二人の社員化、それと〇四春闘分を返してくれと、これをやったら会社は当然だと思いがすが、回答指定日はゼロ回答でした。それじゃ身が持たないんで、一〇日間置いて、また回答指定日を設定したら、またゼロ回答。ついに一月十七日になってもゼロだということ。これは又ストをやるしかないということ。ストの設定もきちんとしなければいけないということ。やってみて、今度の社長は組合大嫌いで、元々組合を好きな社長はいませんが、それですごい分断攻撃をかけてきました。前回の〇四春闘の時は私はマスコミを駆けずり回って我が方のいいような書き方をさせた場面が結構あったんですね。今回は相当資力を使って会社は相当根回しして神奈川新聞とか日本経済新聞とかで、すごい誹謗中傷とも取れる内容を書いて、バスの問題に転嫁して、バスの分社化に組合が応じないと言っていると書いてある。ストでは争点になつていないんですね。事もあろうに後の方では、あつせん・調停を会社がして、中身はバスの問題で組合が応じてくれないからこんな風になつていって、だから地労委にあつせん・調停してくれというんですね。地労委事務局の人に、あの会社はおかしいかと言ったら、どうかしていると言っていました。だって知ってるんだもん、争点を。争点は非正規社員の社員化なんです。それを伝えて、それ自体は一定の評価を得るわけだから、そこをすり替えてやってきたわけです。ですから会社は非常に巧妙にマスコミを使って分断攻撃をかけてきました。

そこをめぐって、会社は鉄道の人だけの明け番、週休者を集めて会社の姿勢の説明をしようとした。手出しします、残業代出しますと。各現場の分会役員から会社の動きの情報を受けたら、助役達に、そんなやり方はおかしいと言ったりして、危うく事なきを得ましたが、分断攻撃が巧妙に行われた経緯がありました。

ストライキとは? 利用者から激励される

結局、ずっとゼロ回答のためにストを設定せざるを得なくなり、一月二四日九六時間のストを設定しました。はなしは違いますが、毎日新聞の去年大学を出た若い記者さんに、ストについてうまく書けと言ったら、そいつがストという電車が止まってしまふんですかと聞いてきた。今の若い人はスト自体を知らない。何で九六時間なのかというと、今回九六時間で切つたのは、年末年始は色々あつて、苦情がいろいろ来るのは困るということ。設定しました。二六日から九六時間やってそのまます年末年始に突入して、休める人は休んじまへ(笑)。これは冗談ですけど。ここでちょっと変化があつて、前回の二〇〇四年との比較を言うと、〇四年はマスコミ対策はうまくいったが、住民・利用者からは反発があつた。今回もそうかなと思つたが違った。普通の人の電話は、頑張れというのが結構多かったですね。お爺さんやお婆さんみたいな人から、自分の孫に全く仕事がなくてフリーターなので、今回は応援するとね。そういう風な声かけが結構あつて、ビラを配る駅の人なんか、おつかない怖いおじさんが近づいてきて、ぶん殴られるのかと思つたら、頑張れと言われたりして、駅の人たちは普段怖い思いをしてますからね。チラシを配っていると今回は真剣に話を聞いてくれる人が多かつた。非正規雇用者の正社員化というのが勿論チラシに書いてあるわけですから、後からかかってくる電話も随分遠くの人からも

と来てくれると、歩道橋の上でスパイ活動に来ていて会社の連中が、こいつら孤立してねえと、何か知らねえが色んな旗が一杯あるし、見たことねえ奴が一杯来ていて、いることがあつたわけですね。そこに来ていてうちの組合員は、本当に安心しますよ。自分たちだけでやってるんじゃないから。これが相当な効果があります。そこから組合員の多くは、ヨシ突っ込もう、しようがない、みんな来てくれたし。そんな風に前回はやつたし、今回も行けるはずでした。

結局、三年経過した 嘱託社員を正社員化

会社はこれは強烈だと、ひとつは二四日のクリスマススイブに設定しているのは相当なダメージなんですけど、全然ゼロ回答の中で神奈川県内外から色んな組合がドッと集まって盛大な集会が行われると、会社は相当警戒しまして、二二時に話があるから来てくれと言ってきました。私たちは検討に値しない回答なら行かないよと言つたら会社は、検討に値する回答があると。それで結局会社は、三年経つた嘱託社員の社員化を受け入れました。完全に。しかし課題はあります。三年経つた人ですからね。へたをすると五七歳で入つた人はなれないわけですね。まだ見直すところはありますが、しかしゼロ回答から社員化すること。会社は認めました。それと五四〇〇円、〇四春闘の分もシブシブ出しました。でも会社は連結欠損金が二〇〇三年に三十一億あつて、一〇年間かけて解消するんだと言つたんですね。住宅手当半分、〇四春闘ゼロとか全然安い労働条件で人を雇つてきて、一〇年で三十一億をなくすと言つたんです。今、三年で一億一億まで小さくし

実は不安 でも共闘の仲間の支え

実は、私たちは本当は不安です。本当はみんな一緒になつてダーツと行けばいいんですが、そうもいかないんで、ストが近づいてくると、分断攻撃などあるが、現場には不安が非常にあつた。で、一月二二日に駅の構内で組合本部主催で総決起集会を開催しました。一週間くらい前に職場毎にも開催しましたが、ここは気合入れてやろうという事で、国労の人でも大勢来ていただきました。そうすると皆さんがドツ

組合員でない 非正規労働者 とも真剣に向き合つ

たんです。六五%くらいまで。それでも、
○四年の賃上げゼロとか、まだ待つてくれ
とか、その時にならば必ず出すからと、
冗談じゃない。その時に株主に無配をやっ
たと宣伝したんだよ、あいつら。その時は
畜生と思いがたも、賃上げゼロを受け入
れましたよ。だけど、株主無配は一回きり
でしょう。私たちの賃上げゼロは時間がた
てばどんどんボロボロになって、相当
効いてくる。そこから会社が連結欠損金を
解消したことが明らかだ。詐欺みたいなや
り方だった。最終的に会社はあと三年とか
言い、一〇年かかった例もある。その手に
乗ってたまるかということできちんとやり
ました。

年齢保障も 仲間と討論し 若い人に乗せ

あと、年齢保障も会社は嫌がったが出し
ました。年齢保障より高い人を下げるわけ
にはいかないの、現状より最高で四万円
上がる人がある。当初は契約運転士さんは、
嘱託運転士というのは運転士ばかりでな
く、那須の別荘で現地採用されている嘱託
みたいな人がいるんですが、この人たちも

対象です。その人たちも社員化です。そう
いうようなところもキチンとできるよ
になりました。実はまだ終わってないん
ね。○四春闘時のマイナス五四〇〇円も配
分しないので一律配布したんですね。基本
的には五四〇〇円乗るんですが、○四以降に
入った若い人がないんですね。そうすると
賃金カーブがそこだけ寝ちゃうんです。一
年違うだけで差がちょっと大きいとい
うことから、今年の春闘では総額で九六〇〇円
要求しているんですが、ここでも格差は正
しくなくてはいけないということで、配分方
法について、全組合員から納得していただ
けました。というのは、年齢毎に、一年目
は一〇〇〇円、二年目は二〇〇〇円とか、
いろいろな配分の仕方があるんですが、四
年までの人は大きい配分にしたんです。勤
続年数分として一八〇〇円とか二〇〇〇円
とか、金を四年間の人にあてて、その他の
人は一〇〇〇円とかにしたんです。それで
賃金カーブをきれいに横にしようと、しか
し多くの年配者が割を食うわけですね。要
求作りのときに、全員がそれで行くこと
になった。勤続の多い先輩方の賃金を削って、
入社四年度までの人へあげようじゃないか
と。その格差の是正が大事だと。○四春闘
の五四〇〇円があるからまあいいかと。で

もまだ続くと思います。
これで賃上げも確保できそうだし、これ
で、初任本給を上げないとますます出てき
てしまうし、そこをきちんとやっていか
なければならぬと思っています。いずれに
しても、相模鉄道の格差は正の闘いとい
うものは、もともとよく考えたと自分たち
の中から創った格差になっていきますよ。
他の私鉄なんかもそうなんです。もつ
と明確に言う人がいます。嘱託運転士が
いるから俺たちの条件が守れるんじゃない
か。それを社員にしちゃったら見もふたも
ねえという人がいます。はっきり言う人が
います。でも中小バスなんかそういう事
があるかなと。同情的な面もありますが、そ
れがいいのと。自分たちが我慢して、下
げられはしないか。上がるのを我慢してそ
こまで考えていかないと。どこかでキチン
とその人たちにも目を向けていかないと
いけない。

希望退職から始まり 真剣に仲間と接してきた

例えば、最初に言いましたように、希
望退職からスタートしました。私たちは相
模鉄道労組というのはすごい組合なんだか

連載企画 ②東京通信技術センター分会

皆で相談、若者に負けるな



分会旅行 (鬼怒川)

東京通信技術セ
ンターは田端駅の近
くにあり、JR・N
TT電話、各種無線、
パソコン回線等の設
置工事、保守を担当
している。管轄範囲
は東京支社の全域。
職場の国労は約二
割。平成採は約五割
も配属され副所長・
科長・助役になって

いる。支社内にあるネットワークグループ、
デジタル無線グループは殆どが平成採。従
来からの無線設計やネットワーク設計には
国労をはじめ国鉄からの社員が多い。知識・
技術面では、平成採はデジタル・IP関係
に強く、国鉄組は技術・安全面で優位。
分会は設立して五年。当初三年はメンテ
の意向により活動できず、出向から復帰し
て毎月の職場集会所から分会活動を開始。意
思統一の強化をめざし執行委員会の定例化、
年三回のレクリエーション(潮干狩り、バー
ベキュー、分会旅行、地区協会のソフトボ
ール参加)で交流と親睦を図っている。
職場要求の組織化では、アンケート調査
や他労組を含めた職場の声を集め「不平・

不満を要求に」し、制約がある中でも所長
に伝え話し合った後は皆に返す努力をして
いる。平成採の要求を取り上げ「自費で作
っていた名刺を会社で作らせた」事は、成果
を感じている。最近では、仕事に支障する出
勤時間の繰上げなど、粘り強く頑張ってい
る。
組織対策では、一人一人が多くの若手と
つながりを深めようと相談している。分会
は互助会を立ち上げ、分会費を徴収し皆で
助け合う体制を整えた。
仲間の悩みは、他の職場に立ち入って仕
事をするのが殆どで、なかなか協力が得
られないこと。今、異常時の案内ディス
プレイ設置工事各駅に入る。仲間が担当し
ているが駅や関係保守区のOKがなかなか
もらえず苦勞している。やさしく協力を。
以上、「仲間を大切に」運動する東京通信
技術センターでした。

ら、組合員との信頼関係はすごいんだから、
希望退職なんて三人くらいしかいないだろ
うと思っていきましたら、とんでもありま
せんでした。希望退職は首切りということ
で、思いもあり、もつと真剣に組合員と接
していかなければと思えました。契約運転士
とか、嘱託運転士とかは組合員ではないん
ですね。でも、この人たちを救えないと俺
たちもやられるということをやったんです
ね。会社はそれってルール違反なんですね。
私鉄の業界では、この組合のやってること
は。だから今回もそうなんです。強烈な
つぶしが来るといって覚悟で今、闘ってい
ます。労務政策も変わっています。新しい組
合も、この間、本社の一部の人たちが作
って、労使協定の組合だと。相模鉄道労組と
いうのは自分たちの我儘を通すのにスト
ライキを設定するのはとんでもないとい
うことで、労使協定の組合ということをや
ったんです。組合費も三〇〇〇円ポッキリと
か。勿論十分警戒する必要はあるんですが。
そこらへんは彼らの狙い、思惑を分析しな
がら対応していきたい。
まだ会社はいろんなことをやってくる予
定だと思えます。我々も翻弄されることな
く戦術を打って、必要とあれば皆さんとも
相談して諸行動を展開したいと思えますの
で、これからも宜しく願います。
今日は、国鉄労働組合に話すようなこと
はなく、皆さんから教わったことを話したよ
うなものなので、足りないことがあったら、
また組合事務所に連絡していただければ、資
料でも送りますので宜しくお願いします。

お知らせ

第17回へら餅釣り大会

一 日	五月二十六日(月)
二 日	場所 武蔵の池・中央棧橋(自動検量機設置場所)
三 日	日程 受付 六時〇〇分から駐車場
四 日	表彰式 一五時三〇分
五 日	参加費 二五〇〇円
六 日	昼食 各自準備又は注文。昼食時間は設けません。
七 日	賞 優勝・準優勝・第三位◇全員に参加賞有。
八 日	申込 参加希望者は、東京地本に申し込みを。

締め切りは五月二十二日(水) 地本必着

「がん」の生涯保障 <21世紀がん保険>		がん以外の「病気・ケガ」の生涯保障 <特約MAX21終身タイプ>	
BESTプラン・1倍		ご本人の保障 [本人型]	
初めて診断されたとき	ご本人の保障 100万円 (一時金として) がんの場合 10万円 上皮内新生物の場合	ケガの保障は90歳までとなります。	ご本人の保障 [本人型]
入院したとき	1日につき 10,000円	病気で入院したとき	1日につき 5,000円 (1日目から)
手術を受けたとき	1回につき 20万円	ケガで入院したとき	1回につき(手術の種類により) 5・10・20万円
高度先進医療を受けたとき	技術料に応じて 6~140万円	がんを含む病気・ケガで 所定の手術を受けたとき	1回につき(手術の種類により) 5・10・20万円
通院したとき	1日につき 5,000円		
がんで死亡したとき	10万円		

●保険期間:終身(ケガの保障は90歳までとなります) ●疾病・災害入院給付金日額5千円
●契約年齢:満3歳~満80歳(本人型) ●1回の入院については124日まで保障 ※日帰り入院(1日入院)
とは、入院日=退院日の入院で、入院料の支払いの有無で、入院であるかどうかが判定されます。
●詳細はパンフレット、ご契約のしおり・約款をご覧ください。

■募集代理店
アベニール 株式会社
TEL 03-3437-6810 FAX 03-3437-6822
〒105-0004 港区新橋5-15-5 交通ビル3F

東京第三営業本部 第三支社 ☎03-3344-1889
〒163-0456 新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル

AFN広告-2003-015-0402051 2月21日